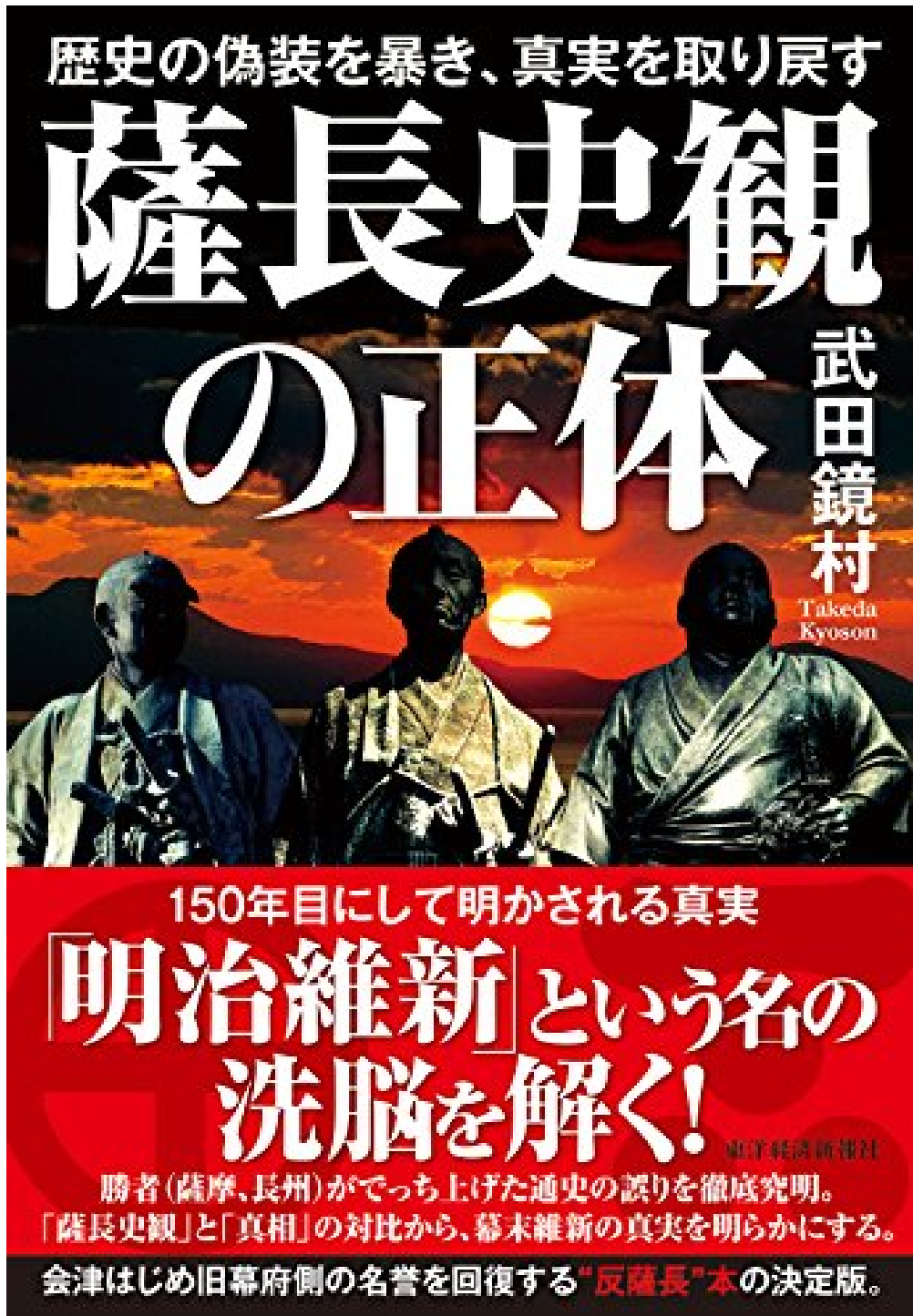


薩長史観の正体 歴史の偽装を暴き、真実を取り戻す



発売日: 2017年9月8日

出版: 東洋経済新報社

著者: 武田 鏡村

ページ: 184

PDF

150年目に明かされる真実! 「明治維新」という名の洗脳を解く!!

勝者（薩摩、長州）がでっち上げた通史の誤りを徹底究明。「薩長史観」と「真相」の対比から、幕末維新の真実を明らかにする。

著者の言葉

「薩長史観」とは何か。明治政府がその成立を正当化するために創り上げた歴史である。それは、薩摩や長州が幕末から明治維新にかけて行なった策謀・謀反・反逆・暴虐・殺戮・略奪・強姦など、ありとあらゆる犯罪行為を隠蔽するために創られた欺瞞（ぎまん）に満ちた歴史観であるということである。

主な内容（一部を抜粋）

[薩長史観1] 幕府は無力・無策のまま開国したために倒幕運動が起こった
[真相] 幕府は薩長に比べて遥かに開明的で、開国による近代化を進めていた

[薩長史観2] 吉田松陰は松下村塾で幕末志士を育成した大教育者である
[真相] 松陰は、暴力革命を礼賛するテロの扇動であった

[薩長史観4] 西郷隆盛は「無私の心」で明治維新を成しとげた最大の功労者である
[真相] 西郷は僧侶を殺し、江戸を混乱させ、同調者を見殺しにした策謀家だ

[薩長史観17] 孝明天皇の病死で、英明な明治天皇が即位して日本は夜明けに向かった
[真相] 孝明天皇は、薩摩と岩倉具視の陰謀によって毒殺された可能性が高い

[薩長史観19] 「討幕の密勅」は正式なもので、天皇から幕府討滅の宣旨が下された
[真相] 討幕の密勅は偽造されたものであり、その真相は文章に示されている

[薩長史観20] 大政奉還は、その場しのぎの愚かな決断である
[真相] 大政奉還は「慶応維新」というべき歴史的偉業であり「明治維新」より優れていた

【主な内容】

まえがき 明治維新百五十年、嘘で固められた薩長史観

第一部 幕末動乱編 （薩長史観 1 ～ 16 とそれに対する“真相”を解説）

第二部 「慶応維新」編 （薩長史観 17 ～ 23 とそれに対する“真相”を解説）

第三部 戊辰戦争編 （薩長史観 24 ～ 40 とそれに対する“真相”を解説）

あとがき かくして「薩長史観」が日本を破滅に導いた

<https://k2s.cc/file/74db17d76cb9b/Zf0Nm5smm.pdf.rar>

